

## 【主の祈り】（カトリック／聖公会共通訳）

天におられるわたしたちの父よ、御名  
が聖とされますように。御国が来ますよ  
うに。御心が天に行なわれる通り 地に  
も行われますように。わたしたちの日ひ  
との糧かてを今日も お与えください。わたし  
たちの罪をお赦しください。わたしたち  
も人を赦します。わたしたちを誘惑に  
おちいらせず、悪からお救いください。  
國くにと 力ちからと栄光えいこうは、永遠えいえんにあなたのもの  
のです。アーメン

## 【使徒信条】（日本基督教団 口語訳）

わたしは、天地の造り主、全能の父で  
ある神を信じます。わたしは そのひとり  
子、わたしたちの主しゆ、イエス・キリスト  
を信じます。主は聖靈せいれいによってやどり、  
おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラ  
トのもとで苦しみを受け、十字架につけ  
られ、死んで葬ほうむられ、よみにくだり、  
三日目に死人のうちからよみがえり、  
天にのぼられました。そして、全能の父  
である神の右に座ざしておられます。そこ  
のです。アーメン

からられて、生きている者と死んでい  
る者をさばかれます。わたしは聖靈せいれいを信  
じます。きよい公同こうどうの教会、聖徒せいとの交わ  
り、罪のゆるし、からだのよみがえり、  
永遠えいえんの命を信じます。アーメン

## 【礼拝賛美】「御名を掲げて」

御名を掲げて あなたをたたえます  
救いのために あなたは来られた  
救いの道を 与えに  
天より降り 来られた  
十字架により 命あがない  
よみがえられた

## 【礼拝賛美】「雄々しくあれ」

①雄々しくあれ強くあれ 少年たちよ  
神様は どこにでも 共におられる  
我らを倒して 負かす者はない  
雄々しくあれ 強くあれ 強くあれ  
②雄々しくあれ 強くあれ 少年たちよ  
神様の み教えを 守り行い  
右にも曲がらず 左にもそれず  
ただまつすぐ進むのだ 進むのだ  
③雄々しくあれ 強くあれ 少年たちよ  
神様の ちかわれた 約束の地は  
正しい信仰だ きよい行いだ  
ゆけ これらを取るまでは 取るまでは

「――」に集まつているすべての者も、剣や槍がなくても、主が救いをもたらす  
「――」を知るだろ。――の戦いは主の戦いだ。主は、おまえたちをわれわれの手  
に渡される。

## サムエル記第一 17 章 47 節

私はゲームをするのが趣味で、特にRPG  
というジャンルの「ドラゴンクエスト」とい  
う作品が大好きです。この作品はたくさんの  
シリーズが出ていて、どのシリーズにも共通  
しているのが、世界を脅かす「魔王」を倒す  
ために勇者とその仲間たちが旅していく  
という物語です。

今日お開きした聖書箇所には、イスラエル  
にとって魔王のような存在が登場します。そ  
れがペリシテ人、ゴリヤテです。ペリシテ人  
との戦いの際に代表の戦士として現れたの  
がこのゴリヤテで、背は3m近くあり、重い  
鎧や槍を軽々と扱う、見るからに強い戦士で  
した。その強大な敵を見たとき、サウル王と

イスラエルの人々は恐れ、心がくじかれてし  
まいります。私たちも自分の想像を超えるよう  
な強大な敵、困難な状況に陥るときに恐れを  
抱き、心がくじけてしまう事があるのでな  
いでしょうか。その敵に立ち向かう勇気もそ  
がれ、逃げる事しかできないという事がある  
かもしれません。しかしダビデの  
ように立ち向かっていくことができたのです。  
私たちも困難な状況に立ち向かう時、自分  
自身ではなく救い出してくださる神様に目  
を向け、神様に信頼を置きながら立ち向かっ  
ていきたいと思います。自分を見るとちっぽ  
けな存在だと感じるかもしれません。必ずし  
もゲームに出て来る勇者のような特別な能  
力を持つていたり、特別な武器を持っている  
わけではありません。しかし神様は私たちの  
最大の武器であり防具となるのです。私たち  
は共にいてくださる神様に信頼を置きなが  
ら人生という旅を神様と共に歩んでいきま  
しょう。（林）

3月16日 プレイズサンナー  
第1礼拝 9時 林伝道師 伴奏機  
第2礼拝 11時 林伝道師 高橋美姫

前奏

招詞 エレミヤ書33章2、3節  
会衆賛美 御名を掲げて  
主の祈り 口語訳(週報4面)

交説 詩篇28篇1～9節  
(旧約聖書 958頁)

礼拝祈祷

使徒信条 口語訳(週報4面)  
会衆賛美 聖歌715 雄々しくあれ  
会衆賛美 聖歌150 わがめを開きて

聖書朗読 サムエル記第一  
(旧約聖書 510頁)  
17章31～51節

説教

ダビデ物語②  
(神様が戦ってくださる)  
会衆賛美 聖歌218 林真光伝道師  
頌金 たかき岩よ

終祷 報告

聖歌376 父御子御靈の

感謝祈禱

奏楽

【招詞】(主の招きの「いば」)  
エレミヤ書33章2、3節「地を造つた主、それを形造つて堅く立てた主、その名が主である方が言われる。『わたしを呼べ。そうすれば、わたしはあなたに答え、あなたが知らない理解を超えた大いなることを、あなたに告げよう。』」アーメン

### 【本日の予定】

■会堂清掃 礼拝後

■会長会 10時15分～45分 談話室

■小学校礼拝 11時～3階

■バイブル力フエ 12時15分 談話室

■イースター賛美練習

曲目 13時30分～15時 礼拝堂  
・御名を掲げて  
・キリストは生きておられる

【次週の説教】説教者 荻野牧師

聖書箇所 ルカ10章38～42節  
13時30分～15時 礼拝堂

■第2礼拝

礼拝祈祷 報告 会場 献金祈禱  
聖書朗読 荻野牧師 1階 司会者  
献金1階 報告 荻野牧師  
受付 荻野牧師 配信

■第2礼拝

礼拝祈祷 報告 会場 献金祈禱  
聖書朗読 荻野牧師 1階 司会者  
献金1階 報告 荒野牧師  
受付 荒野牧師 配信

■第2礼拝

礼拝祈祷 報告 会場 献金祈禱  
聖書朗読 荒野牧師 2階 司会者  
献金1階 報告 荒野牧師  
受付 荒野牧師 配信

■第2礼拝

礼拝祈祷 報告 会場 献金祈禱  
聖書朗読 荒野牧師 2階 司会者  
献金1階 報告 荒野牧師  
受付 荒野牧師 配信

### 【新年度の聖日礼拝について(続)】

先週の週報には4月6日以降の礼拝式についてお知らせしました。

・9時 小礼拝(オンライン配信実施)

・11時 聖日礼拝

本日は「小学校ホザナ礼拝」「ひじ礼拝」についてのお知らせです。

《毎週日曜日》

・11時 小学校ホザナ礼拝 3階  
・11時 こひつじ礼拝 4階

教会学校(CS)については、時間

はこれまでと変わりません。  
変わるのは奉仕者の動きです。「ス

タッフの完全□一テーション制」に  
移行します。

2024年度は、毎週奉仕をするレ

ギュラースタッフ(ワーカー)と、パートでお手伝いくださるサポートャーで毎週のCS活動を行っています。

そのうちレギュラースタッフ数名がこの3月で退任し、4月以来はレギュラースタッフが激減します。当初はCSの時間を早める予定でしたが、主力が抜ける変化に加えて時間を変えることは奉仕者の過重な負担が懸念

され、子どもたちを混乱させる危険があります。そこで時間を変えないことにしました。

この場合、スタッフが毎週CS奉仕をすると聖日礼拝に出席できなくなってしまいます。そこで、2025年度はスタッフワークカードがローテーション組んで対応することになりました。

また、当日奉仕するスタッフについてはこれまで第一礼拝への出席が励行されていましたが、2025年度は小礼拝への出席は励行せず、CS礼拝をご自身の礼拝としていただくことを基本とします。

この背景には、これまで、CS奉仕を担った兄弟姉妹に大きな負担が掛かっていたことへの反省があります。毎週の奉仕を担うだけでなく、季節との特別プログラムや泊りがけのキャンプなど、多くの時間と労力、経済がささげられていました。本当に尊いことでした。しかし、現時点の蒲田システムを減らして、お互いの負担を減らしつつ、主が愛された子どもたち、若い方々にお互いが目を向けて、支える働きも分かち合いたいと思います。

【教会総会】3／23(日)  
午後1時30分 礼拝堂

・欠席する正会員の兄弟姉妹には「議決権行使書」の提出をお願い致します。

・他教会籍の方、新来者の方も陪席ができます。

【教団年次総会】3／20(木祝)  
午前10時30分

この年次総会では、現在7名の理事を5名と改め、理事改選を行う予定です。特に石田理事長が理事選挙を辞退し理事長を退任する予定です。教団も変化の時を迎えています。主の導きをお祈りください。

【報告 消息】  
・CLUB ZION

悪天候が危ぶまれましたが、無事に開催。茅ヶ崎で礼拝、賛美、交わり、レクリエーションを楽しみました。次は5月春キャンプです!

教会学校(CS)については、時間はこれまでと変わりません。  
変わるのは奉仕者の動きです。「ス

タッフの完全□一テーション制」に  
移行します。

2024年度は、毎週奉仕をするレ

ギュラースタッフ(ワーカー)と、パートでお手伝いくださるサポートャーで毎週のCS活動を行っています。

そのうちレギュラースタッフ数名がこの3月で退任し、4月以来はレギュラースタッフが激減します。当初はCSの時間を早める予定でしたが、主力が抜ける変化に加えて時間を変えることは奉仕者の過重な負担が懸念

され、子どもたちを混乱させる危険があります。そこで時間を変えないことにしました。

この場合、スタッフが毎週CS奉仕をすると聖日礼拝に出席できなくなってしまいます。そこで、2025年度はスタッフワークカードがローテーション組んで対応することになりました。

また、当日奉仕するスタッフについてはこれまで第一礼拝への出席が励行されていましたが、2025年度は小礼拝への出席は励行せず、CS礼拝をご自身の礼拝としていただくことを基本とします。

この背景には、これまで、CS奉仕を担った兄弟姉妹に大きな負担が掛かっていたことへの反省があります。毎週の奉仕を担うだけでなく、季節との特別プログラムや泊りがけのキャンプなど、多くの時間と労力、経済がささげられていました。本当に尊いことでした。しかし、現時点の蒲田システムを減らして、お互いの負担を減らしつつ、主が愛された子どもたち、若い方々にお互いが目を向けて、支える働きも分かち合いたいと思います。

総勢29名(内、中高生12名)